



## 2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月8日

上場会社名 株式会社ストリーム 2026年6月8日  
 コード番号 3071 URL https://www.stream-jp.com/ 上場取引所 東  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市村 智樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉 向東 (TEL) 03(6823)1125  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年1月期第1四半期の連結業績(2026年2月1日~2026年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	8,259	5.0	95	181.8	95	197.8	61	210.2
2026年1月期第1四半期	7,864	8.9	33	427.7	32	648.6	19	756.7

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 59百万円(215.7%) 2026年1月期第1四半期 18百万円(827.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	2.21	—
2026年1月期第1四半期	0.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	7,384	2,958	39.6
2026年1月期	6,725	2,981	43.8

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 2,922百万円 2026年1月期 2,944百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,881	3.4	294	4.3	287	2.3	192	27.9	6.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	28,525,000株	2026年1月期	28,525,000株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	888,500株	2026年1月期	888,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	27,636,500株	2026年1月期1Q	27,636,500株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等の注記)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年2月～2026年4月)におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進むなか、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しております。一方、米国の通商政策の動向や地政学リスク等に伴う為替変動、エネルギー資源・原材料価格や物流コストの高騰、生活必需品の物価高騰が個人消費に与える影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、お客様のライフスタイル作りのサポートとして「より良い商品」「より良い価格」「より良いサービス」をモットーに、新しい価値観の提案・提供を通して社会の発展に貢献することを経営の基本方針に、既成概念にとらわれることなくチャレンジを続け、インターネット通販事業を中心に事業活動を行っております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①インターネット通販事業

当第1四半期連結累計期間(2026年2月～2026年4月)における国内の家電小売業界におきましては、パソコン、周辺機器、エアコン等の季節商品やスマートフォンなどが好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社が出店する「Yahoo!ショッピング」「楽天市場」「Amazonマーケットプレイス」等の外部サイトの売上高は、ポイント等の効果的な販促施策の展開により、スマートフォン、デジタルカメラ、カメラ用レンズ、電子レンジ、空気清浄機、ヘアドライヤー等を中心に好調に推移いたしました。今後も売れ筋商品の在庫施策等により更なる売上高確保に努めてまいります。

商品購入検討時の問い合わせ用にWEB接客ツールのチャット機能を導入している「ecカレント」オリジナルサイト、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」の外部サイトにおける大型家電の配送設置サービスやコールセンターでのきめ細やかな接客を通じてそれぞれのお客さまに合った提案を行うよう努めております。

省エネ家電への買い替え促進策といたしまして、当社は、SDGsの観点からインターネット通販企業として先駆けて東京ゼロエミポイント登録事業者となっており、「ecカレント」オリジナルサイト及び「ecカレント楽天市場店」等の店舗で、その場でポイント分がご購入金額から最大で8万円分値引きされる「省エネ家電」への積極的な買い替え訴求を同サイトにて行い、対象家電の売上高は堅調に推移いたしました。

2026年4月より、夏季需要の本格化を見据え、「ecカレント」オリジナルサイトにおいて、対象のエアコンが最大5万円引きとなるクーポンが利用できる販促施策を行いました。さらに、2027年度省エネ基準への対応に伴う買い替え需要の高まり、いわゆる“2027年問題”を背景に、取引先との仕入体制の強化に注力し、エアコンの品揃えを大幅に拡充したことにより、売上高の拡大を牽引しております。

2026年3月に開催された「au PAY マーケット」の「BEST SHOP AWARD 2025」において、「ecカレント」が、パソコン・PC周辺機器カテゴリ賞を受賞いたしました。また、同月に開催された「Yahoo!ショッピング年間ベストストア2025」では、「イーベスト」が家電・スマホグループ総合賞 第3位、「ワンズマート」が新人賞 第3位を受賞いたしました。

各カテゴリにおける前年同四半期比では家電9.9%減、パソコン12.7%増、周辺機器・デジタルカメラ24.1%増となりました。売上高及び利益面に関しましては、前年同四半期比で増収増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は8,029百万円(前年同四半期比5.7%増)、営業利益230百万円(前年同四半期比47.5%増)となりました。

## インターネット通販事業の売上・受注件数等の推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	受注件数(千件)	棚卸資産回転率 (回転/年換算)
当第1四半期連結累計期間	8,029	230	241	13.3
前第1四半期連結累計期間	7,597	155	246	12.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第1四半期連結累計期間	3,226	1,512	3,001	288	8,029
前第1四半期連結累計期間	3,583	1,341	2,419	253	7,597

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

## ②ビューティー&amp;ヘルスケア事業

株式会社エクスワンにおいて展開される、ビューティー&ヘルスケア事業においては、新商品として、2026年4月に日焼け止めクリーム「エクスワン ナチュラルシールド UV50+」及びヒト幹細胞培養液等配合の「リブラージュ ハイドロゲル アイシート」を発売し、おかげさまで売上高は堅調に推移いたしました。

会員ビジネスにおいては、2026年3月に東京、大阪、福岡、新潟で対面での新商品のプロダクトセミナー開催やWEB会議アプリケーションによる動画(ライブ含む)配信を活用し、2026年4月にT i k T o k 関連講座の開催等により会員とのきめ細やかなコミュニケーションを行いました。

2026年4月、大人の女性のための完全予約制プライベートサロン「サロン・ドゥ・インナップ青山 リラクゼーションスペース」をオープンいたしました。エクスワンが長年培ってきた美容研究とヒト幹細胞培養液コスメの技術を活かして、“最上級のリラクゼーション体験”を提供する直営サロンです。

卸販売においては、訪日外客数が前年に続き1月から4月までの累計で1,400万人を突破した状況を受け、免税店舗の売上高は堅調に推移いたしました。一方、会員向けビジネスは、計画をやや下回る結果となり全体の売上高は減収となりました。利益面においては、当社グループでコールセンター等の内製化を実施し、コスト削減効果があったものの、売上高減少の影響を補うには至らず減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は153百万円(前年同四半期比20.7%減)、営業損失20百万円(前年同四半期は12百万円の営業損失)となりました。

## ビューティー&amp;ヘルスケア事業の売上推移

(百万円)

	パーソナルケア	ヘルスケア	その他	合計
当第1四半期連結累計期間	100	42	9	153
前第1四半期連結累計期間	107	58	26	193

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

③その他事業（「各種販売支援事業」、「3PL事業」、「不動産事業」）

「各種販売支援事業」においては、ラオックス等の国内免税店舗等において訪日観光客向け販売や株式会社エックスワン商品の会員向け販売のシステム・物流支援等を行っております。

「3PL事業」においては、当社が運営する「e c カレント」をはじめインターネット通販サイト運営で培ってきたノウハウを基に、販売から物流までワンストップで管理する質の高いシステムをインターネット通販事業者の皆さまに対して提供してきた実績を活かし、物流倉庫・受注管理・出荷の包括的な物流支援サービスを行っており、パソコンや家電以外に自転車等のアイテムやスポット対応等柔軟なサービスを提供しております。

「不動産事業」においては、国内案件のみならず、海外のお客様も対象に、不動産の売買・賃貸等に関する仲介事業を展開しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は89百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業損失2百万円（前年同四半期は0百万円の営業利益）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高8,259百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益95百万円（前年同四半期比181.8%増）、経常利益95百万円（前年同四半期比197.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61百万円（前年同四半期比210.2%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し、7,384百万円となりました。これは主に、現金及び預金192百万円増加、売掛金189百万円増加、商品278百万円増加によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ681百万円増加し、4,425百万円となりました。これは主に、買掛金642百万円増加によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、2,958百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円の計上、配当金の支払82百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、1,559百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、313百万円(前年同四半期は564百万円増加)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益97百万円、仕入債務の増加額642百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額189百万円、棚卸資産の増加額277百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、37百万円(前年同四半期は55百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出37百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、83百万円(前年同四半期は507百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額78百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の業績予想に関しましては、2026年3月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,367,033	1,559,672
売掛金	1,761,584	1,951,036
商品	2,559,826	2,838,092
その他	104,696	93,164
流動資産合計	5,793,140	6,441,965
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	90,666	88,785
車両運搬具(純額)	4,415	4,114
工具、器具及び備品(純額)	55,695	52,235
土地	2,003	2,003
建設仮勘定	660	15,848
有形固定資産合計	153,441	162,987
無形固定資産		
ソフトウェア	351,368	352,251
その他	16,142	15,422
無形固定資産合計	367,510	367,674
投資その他の資産		
投資有価証券	10,379	10,365
出資金	280	280
差入保証金	345,678	346,259
その他	333,209	332,493
貸倒引当金	△277,876	△277,876
投資その他の資産合計	411,671	411,522
固定資産合計	932,623	942,184
資産合計	6,725,764	7,384,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,193,464	2,835,710
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払金	585,478	622,280
未払法人税等	57,492	43,536
賞与引当金	4,666	17,666
その他	126,915	135,769
流動負債合計	3,584,025	4,270,972
固定負債		
長期借入金	57,282	53,280
資産除去債務	82,938	83,059
その他	20,121	18,575
固定負債合計	160,342	154,915
負債合計	3,744,367	4,425,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	924,429	924,429
資本剰余金	885,633	885,633
利益剰余金	1,243,594	1,221,707
自己株式	△109,659	△109,659
株主資本合計	2,943,997	2,922,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	88
その他の包括利益累計額合計	101	88
新株予約権	19,175	19,175
非支配株主持分	18,120	16,887
純資産合計	2,981,396	2,958,262
負債純資産合計	6,725,764	7,384,149

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	7,864,373	8,259,945
売上原価	6,570,210	6,928,245
売上総利益	1,294,163	1,331,699
販売費及び一般管理費	1,260,374	1,236,487
営業利益	33,788	95,212
営業外収益		
受取利息	1,336	2,882
受取手数料	143	106
為替差益	-	198
その他	212	192
営業外収益合計	1,692	3,379
営業外費用		
支払利息	2,199	2,784
支払手数料	876	-
為替差損	232	-
営業外費用合計	3,308	2,784
経常利益	32,172	95,807
特別利益		
固定資産売却益	-	1,800
特別利益合計	-	1,800
税金等調整前四半期純利益	32,172	97,607
法人税等	13,241	37,818
四半期純利益	18,931	59,789
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△739	△1,233
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,670	61,022

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	18,931	59,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△13
その他の包括利益合計	4	△13
四半期包括利益	18,935	59,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,674	61,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△739	△1,233

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	32,172	97,607
減価償却費	43,772	42,485
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,000	12,999
受取利息及び受取配当金	△1,336	△2,882
支払利息	2,199	2,784
為替差損益(△は益)	232	△198
固定資産除売却損益(△は益)	-	△1,800
売上債権の増減額(△は増加)	11,990	△189,452
棚卸資産の増減額(△は増加)	△353,403	△277,324
仕入債務の増減額(△は減少)	884,181	642,246
その他	△35,222	34,911
小計	591,585	361,376
利息及び配当金の受取額	1,336	2,191
利息の支払額	△2,199	△2,793
法人税等の支払額	△26,156	△47,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	564,565	313,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△553	△1,194
有形固定資産の売却による収入	-	1,800
無形固定資産の取得による支出	△38,320	△37,596
貸付けによる支出	△16,000	-
差入保証金の差入による支出	△490	△383
その他	△10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,373	△37,374
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△412,498	-
長期借入金の返済による支出	△17,982	△4,002
配当金の支払額	△76,568	△78,052
その他	△780	△989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,828	△83,044
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,363	192,638
現金及び現金同等物の期首残高	895,143	1,367,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	896,507	1,559,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	インター ネット 通販事業	ビューティ ー&ヘルス ケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,597,480	191,691	75,201	7,864,373	—	7,864,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	1,732	10,632	12,379	△12,379	—
計	7,597,495	193,424	85,833	7,876,753	△12,379	7,864,373
セグメント利益又は損失(△)	155,933	△12,411	149	143,671	△109,882	33,788

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,882千円は、セグメント間取引消去△915千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,967千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業、3PL事業及び不動産事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	インター ネット 通販事業	ビューティ ー&ヘルス ケア事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,029,253	151,958	78,733	8,259,945	—	8,259,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	1,433	10,761	12,347	△12,347	—
計	8,029,406	153,392	89,494	8,272,293	△12,347	8,259,945
セグメント利益又は損失(△)	230,054	△20,269	△2,566	207,218	△112,006	95,212

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△112,006千円は、セグメント間取引消去349千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,355千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、各種販売支援事業、3PL事業及び不動産事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。